

どうぶつ「いろ」びんご 解説シート



動物の色にも意味がある？

- 緑
鳥の中でも特に色鮮やかなインコの仲間。コザクラインコの緑色は、仲間を探すのに役立つと考えられています。
- 白
ヒツジなど家畜化された動物の中には、毛を加工するために白い毛に改良された品種もいます。
- 黄色
トラのしま模様は、深い草むらに潜んでいると周囲に溶け込みカモフラージュになります。
- 灰色
クロサイは、非常に厚く硬い皮膚を持っています。普段は灰色ですが、泥浴びをした後は茶色になります。
- 茶色
茶色の動物はたくさんいます。自然界では目立ちにくい色のため、天敵や獲物に見つかりにくくなります。
- ピンク
フラミンゴは種類によって濃さがちがうピンク色をしています。これは、食べ物の色素が羽の組織に沈着するためです。
- オレンジ
アカカンガルーは、大人になるとオスだけがオレンジ色になります。オスの胸のあたりから赤い分泌液が出るのが種名の由来です。
- 赤
ニホンザルの顔やお尻は、毛が生えておらず赤い色をしています。これは、皮膚の下の血管が空けて見えるためです。
- 黒
レッサーパンダは、お腹と足が黒色です。木の上で休んでいる時に下から見上げると、木陰に紛れて見つかりにくいと考えられています。



他に見られた色はあるかな？

動物の色や模様は、住んでいる地域や場所によって様々です。
気になる動物がいたら、色や模様の理由を調べてみてください。